

ごあいさつ

いび川農業協同組合
代表理事組合長

堀 尾 茂 之



平素よりJAいび川の各事業に格別のご利用を賜り、厚くお礼申し上げます。

わが国の経済情勢は、長引く新型コロナウイルス感染症の影響下にありますが、厳しい状況は徐々に緩和されており持ち直しの動きがみられています。しかし、ロシア・ウクライナ情勢を受けて、国際金融資本市場では不安定な動きがみられるほか、原油などの資源価格が大幅に上昇しています。金融政策においては、企業の資金繰り支援と金融市場の安定維持を目的とする量的・質的金融緩和政策の継続により、国内金利は依然として低位での推移となりました。

農業分野においてもエネルギーコストの急騰や生産資材価格の高騰が続いています。また新型コロナウイルス感染拡大による農畜産物の需要減退の影響が農業者の経営と生活を圧迫していることから、農業者の農業経営への不安が高まっています。

JAをめぐる情勢では、昨年6月に閣議決定された規制改革実施計画及びそれを踏まえた農協等向けの総合的な監督指針に対応し、自己改革実践サイクルの構築と実践に取り組む必要があります。これまで以上に社会環境の変化に対する柔軟でスピード感のある事業運営が求められる状況となってきました。

こうした状況を踏まえ、昨年度は第9次中期経営計画（令和元年度～3年度）の最終年度として、「農業者の所得増大の実現」「協同による地域活性化への貢献」「総合事業機能発揮のための経営基盤強化」を基本目標と定め、取り組みを進めてまいりました。

令和4年度は、新たに第10次中期経営計画の初年度として、対話を通じた不断の自己改革に取り組み、組合員や地域の皆さまから必要とされるJAを目指して事業を展開してまいります。

今年度も組合員の皆さまの負託に応え、皆さまとともに邁進する所存です。

ここに「2022年ディスクロージャー誌」を作成いたしましたので、是非ご一読いただき、JAいび川への理解を深めていただきますとともに、今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

令和4年7月